

万博記念公園 自然ものがたり①

園内の“自然ふれあい”を紹介するページ

(公社)大阪自然環境保全協会

万博記念公園・生きもの見わけ方講座(上)

トンボ

	2013年の日程	講座のテーマ
1	6月 9日(日)	トンボ
2	6月23日(日)	水生生物
3	8月 4日(日)	セミ・チョウ
4	9月22日(日)	シダ
5	10月 6日(日)	キノコ
6	11月10日(日)	植物
7	12月 1日(日)	野鳥

万博記念公園の身近な生きものや植物に親しみ、その特性などを学び、基本的な見分け方のノウハウを身につける講座です。園内の“生きもの調査”にボランティアで参加していただくこともめざしています。

園内の自然をよく知る専門家から、実際のフィールドで自然に触れながら生きものについて多くの知識が得られ、各講師の先生の個性がそれぞれ楽しかったとの感想に加え、冬季にも実施して欲しいとの希望もありました。



- ◇ トンボの産卵が見れたり胸が3つに分かれているなどトンボの成体について詳しく知ることができ、おもしろかったです。
- ◇ トンボの眼、体、羽根、雌雄の見分け方、などいろいろ知れて、とても興味深く、先生の話し方がとてもよかったです。
- ◇ 資料がとてもわかりやすい。あとでゆっくり読みたい

水生生物



- ◇ 蝶がたくさん見れて良かったです。昆虫の進化のはなしがすごく面白かったです。
- ◇ 虫あみを使ってセミやチョウをとって久々に子ども頃にもどって楽しい時間をすごせました。ありがとうございました。
- ◇ クマゼミのぬけがらの見分け方がでべそがあると分かりやすかったです。
- ◇ セミやチョウの特性がくわしく分かってよかったです。セミのぬけがらで生息状況をつかめることができるのも勉強になった。

◆公園内では一般来園者の生物の捕獲は
禁じられています



受講生たちの一言感想

- ◇ 特にカワニナと源氏ボタルの関係、ザリガニのお話がおもしろかった。ますますおもしろくなってきた。
- ◇ 調査した小川や池には外から見えませんが、観察してみると多種の水生生物が採集でき興味あり、感動しました。

